

教 育 委 員 会 会 議 次 第

平成 2 7 年 1 月 2 3 日 (金) 15:00
教 育 委 員 会 会 議 室

1 開 会

2 案 件

(1) 議案

議案第 4 0 号 「北九州市立特別支援学校高等部学則の一部改正について」

(特別支援教育課長)

議案第 4 1 号 「保有個人情報開示請求に係る審査請求の裁決について」

(服務争訟担当課長)

(2) 協議

協議① 「公立幼稚園のあり方について」

(学校規模適正化担当課長)

協議② 「八幡図書館の移転整備計画 (案) について」

(生涯学習課長)

(3) その他報告

その他報告① 「平成 2 6 年度本市児童生徒の体力の状況について」

(指導第一課長)

その他報告② 「『北九州市いじめ問題専門委員会』第 2 回会議結果について」

(生徒指導担当課長)

その他報告③ 「請願第 1 5 号 「小・中学校全学年での少人数学級の実現について」

(教職員課長)

その他報告④ 「請願第 1 6 号 「学校給食費の無料化について」

(学校保健課長)

3 閉 会

教 育 委 員 会 （ 定 例 会 ）

- 1 開催年月日 平成27年1月23日（金）
- 2 開催時間 15:02～16:35
- 3 開催場所 小倉北区役所庁舎東棟6階
- 4 出席委員 古城和子（委員長） 吉田ゆかり シヤルマ直美 伊藤一義 彌登 章
垣迫裕俊（教育長）
- 5 事務局職員 教育次長 岩渕 英司
総務部長 小澤 周三
学務部長 花本 潤一
指導部長 渡邊 義隆
教職員研修・企画担当部長 大庭 正美
生涯学習部長 宇佐美 健次
人権教育担当部長 大竹 順司
総務課長 平野 義人
企画課長 松成 幹夫
施設課長 佐村 良夫
指導企画課長 今村 剛志
指導第一課長 弥永 和利
指導第二課長 平池 秀幹
特別支援教育課長 入尾 忠之
教職員課長 太田 清治
学事課長 吉竹 直人
学校保健課長 安藤 光春
生涯学習課長 梅下 勝己
学校規模適正化担当課長 簗田 昌一
服務争訟担当課長 吉永 一郎
教育振興担当課長 山本 浩三
学校支援担当課長 田頭 麗宏
生徒指導担当課長 牧島 伸司
中央図書館庶務課長 嶋田 直紀
中央図書館奉仕課長 深町 康幸
- 6 書 記 総務課庶務係長 田内 淳也
総 務 課 鈴木 忠之
- 7 会議の次第 別紙のとおり

教育委員会会議録（平成27年1月23日）

1 開 会

15:02 古城委員長が開会を宣言。

以下の案件を非公開にすることを議決

- ・議案第41号 「保有個人情報開示請求に係る審査請求の裁決について」
- ・協議② 「八幡図書館の移転整備計画（案）について」
- ・その他報告② 「『北九州市いじめ問題専門委員会』第2回会議結果について」
- ・その他報告③ 「請願第15号「小・中学校全学年での少人数学級の実現について」
- ・その他報告④ 「請願第16号「学校給食費の無料化について」

2 会議録署名委員の指名

古城委員長が会議録署名委員に、伊藤委員と彌登委員を指名。

3 案 件

(1) 公開案件

議案第40号 「北九州市立特別支援学校高等部学則の一部改正について」

本議案の提案理由を特別支援教育課長が説明。

〔提案理由要旨〕 小倉北特別支援学校高等部、小倉南特別支援学校高等部、八幡特別支援学校高等部及び北九州中央高等学園の入学定員を平成27年度に限り変更するため、関係規定を改める必要があるので、この案を提出する。

吉田委員／去年も同じように、この時期に1年単位で増加の申請があったと思う。以前よりは特別支援教育を受ける人が増加しているが、今後の定員推移の見通しや、新しく門司にできる特別支援学校へ移る予定の高等部の定員枠についてはどのような計画でなされているのかを伺う。

特別支援教育課長／まず、1年単位の増加の申請については、志願数は毎年変動があるため、毎年、志願希望状況調査を行い、それに基づいて臨時要求行っているためであり、これにより、子どもの要望、実情に応じた対応ができると考えている。

今後の見通については、平成28年度に門司総合特別支援学校が開校することで、小倉南特別支援学校を中心とした志願希望者数の分散を図ることができると考えており、その状況を踏まえながら、対応していきたい。

また、門司総合特別支援学校の高等部の定員については、1学年が31名で、3学年あるので、高等部としては現在のところ93名の定員と考えている。

原案可決

協議① 「公立幼稚園のあり方について」

本議案の内容を学校規模適正化担当課長が説明。

〔説明要旨〕

- ・ 論点と協議スケジュール
- ・ 幼児教育を取り巻く現状
- ・ これまでの検討
- ・ 今後の検討の視点

古城委員長／今年の春に開始する予定の『子ども・子育て新制度』について、制度の概要、本市の状況についての資料の提供及び説明を次回以降お願いしたい。

学校規模適正化課長／はい。

吉田委員／現時点で私立幼稚園との交流、教育的なものの交流や下地といったようなものはあるのか。また、公立で研究したことを私立幼稚園連盟と勉強し合うシステムのようなものはあるのか。それとも、これから仕組みを作るのか。自閉症に関する実践発表を聴いたことがあるが、発達支援のようなことを中心とした研究施設にするのか。

学校規模適正化課長／現状として、公立幼稚園では研究委嘱という形で教育研究活動を行っており、最終段階において公開保育を実施してその成果を私立幼稚園の方々にも見ていただく、報告書を配付する、研究活動の中で開発された教材などに関しても活用いただけるよう発信する、といったことは行っている。ただ、それが受け取る側の私立幼稚園でどのような活用がなされているかは把握できていない。私立と公立の幼稚園の教員の交流という点については、保幼小連携事業で、関係者が一同に会して意見交換をする場が持たれている。また、市立教育センターで私立幼稚園の新規採用教員に新採研修を実施しており、そのときに公立幼稚園教諭が講師として関わる。こういった公私間の教員交流を図る仕組みはできている。発達障害などの特別支援については、公立幼稚園としてどのような対応があるのか。教育全体でどのように考えていくのかについては、研究実践の大きなテーマのひとつになるのではないかと考えており、次回以降にご議論をいただければと考えている。

吉田委員／なかなか公私間の交流は難しいと思うが、研究を生かしていくために子どもに返るようなシステムをきちっと作ってほしいと思う。

古城委員長／2月に予定されているのは研究実践に関する検討だが、今日説明があったことがある程度組織的に分かるように説明をお願いしたい。

協議終了

その他報告① 「平成26年度本市児童生徒の体力の状況について」

指導第一課長が報告。

〔報告要旨〕 以下の項目について報告。

- ・ 調査の概要
- ・ 調査の結果

シャルマ委員／昨年も同様の調査についての報告があったが、全国平均との差があった。本年度は学力向上や、生きていく力を支える体力・運動能力が向上しているということとはとても素晴らしいことだと思う。体力向上検討会を中心とする有効な取り組みの成果が現れているのではないかと思う。

4ページの資料の中で、小学校よりも中学校のほうが全国平均を上回っていたり近かったりという傾向がある。北九州市の中学校の体育の先生の指導力の高さがこの点に現れていると思う。今回でいえば、小学校の先生に中学校の先生の体力・運動能力を高める授業方法や、授業技術などを伝える取組みをされていたと思うが、この点について本年度されている実践報告を伺う。

教育振興担当課長／小学校と中学校との連携については、本年度主任研修会、あるいは全員研修会において、担当の指導主事から積極的な小中学校の連携による体力向上の指導助言をしている。また、体力向上の支援検討委員会の中でもこの点が話題になり、来年度については、今年以上に、中学校の教員が小学校の支援をしていく中で、小学校の体力向上にしっかり取り組んでいこうと話をしているところである。

シャルマ委員／1ページの調査内容のところに、「質問紙調査」というのが書いてあるが、「質問紙調査」の中で、本市の特徴や課題となるようなこと、あるいは本市の進んでいる、望ましい傾向とか、そういったことがあれば教えて欲しい。

教育振興担当課長／「質問紙調査」で、特に本市で顕著に見られるというものはない。全国と同様の傾向として、例えば体育の授業の中で、できるようになったきっかけとして、児童生徒が多く答えたものの中に、先生にコツやポイントを教えてもらったとか、先生や友達のまねをしたとか、あるいは友達に教えてもらったということが、非常に体力向上につながっている、相関関係にあるということが傾向として伺える。こういったことが、授業改善の一つのヒントになるであろうということで、進めていきたいと考えている。それからもう1点、例えば小学校入学前に、体を動かすいろいろな遊びをしていた児童が、いつも同じ内容の運動しかしていなかった小学生に比べて、体力の合計点が高いというのが、全国的な傾向の中でも見られた。やはり、一つの運動だけではなく、遊びを通じていろいろな運動を、幼い時から、また小学校段階でやっていくということが、体力向上につながる基礎になるということが、ヒントとして示されたのではないかと捉えている。

伊藤委員／中2の子どもたちが、小学校の時、3年前の平成23年の時にどういった数字だったのかというのが、もし分かれば教えて貰えればと思う。その学年の過去からの一連データがあれば、分析にも役立つのではないかと思う。

報告終了

(2) 非公開案件

協議② 「八幡図書館の移転整備計画（案）について」

本議案の内容を生涯学習課長が説明。

〔説明要旨〕

- ・ 移転スケジュール
- ・ 移転の概要

非公開案件のため、質疑省略。

協議終了

その他報告③ 「請願第15号「小・中学校全学年での少人数学級の実現について」

教職員課長が報告。

〔報告要旨〕 以下の項目について報告。

- ・ 請願の内容
- ・ 請願の審議
- ・ 処理方針

報告終了

その他報告④ 「請願第16号「学校給食費の無料化について」

学校保健課長が報告。

〔報告要旨〕 以下の項目について報告。

- ・ 請願の内容
- ・ 請願の審議
- ・ 処理方針

報告終了

その他報告② 「『北九州市いじめ問題専門委員会』第2回会議結果について」

生徒指導担当課長が報告。

〔報告要旨〕 以下の項目について報告。

- ・会議の概要
- ・議事概要
- ・平成26年度の取り組み

非公開案件のため、質疑省略。

報告終了

議案第41号 「保有個人情報開示請求に係る審査請求の裁決について」

本議案の提案理由をサービス争訟担当課長が説明。

〔提案理由要旨〕 平成26年2月17日付けの保有個人情報開示請求に対する一部開示決定に対し、平成26年4月30日に提起された審査請求について、行政不服審査法第40条第3項及び北九州市個人情報保護条例第44条第2項の規定に基づき決裁を行うもの。

非公開案件のため、質疑省略。

原案可決

4 開 会

16：35 古城委員長が閉会を宣言。